

CA Agile Vision™ および CA Product Vision

統合ガイド (CA Clarity PPM、On Premise)

Summer 2012



このドキュメント(組み込みヘルプ システムおよび電子的に配布される資料を含む、以下「本ドキュメント」)は、お客様への情報提供のみを目的としたもので、日本 CA 株式会社(以下「CA」)により随時、変更または撤回されることがあります。

CA の事前の書面による承諾を受けずに本ドキュメントの全部または一部を複製、譲渡、開示、変更、複製することはできません。本ドキュメントは、CA が知的財産権を有する機密情報です。ユーザは本ドキュメントを開示したり、(i)本ドキュメントが関係する CA ソフトウェアの使用について CA とユーザとの間で別途締結される契約または (ii) CA とユーザとの間で別途締結される機密保持契約により許可された目的以外に、本ドキュメントを使用することはできません。

上記にかかわらず、本ドキュメントで言及されている CA ソフトウェア製品のライセンスを受けたユーザは、社内でユーザおよび従業員が使用する場合に限り、当該ソフトウェアに関連する本ドキュメントのコピーを妥当な部数だけ作成できます。ただし CA のすべての著作権表示およびその説明を当該複製に添付することを条件とします。

本ドキュメントを印刷するまたはコピーを作成する上記の権利は、当該ソフトウェアのライセンスが完全に有効となっている期間内に限定されます。いかなる理由であれ、上記のライセンスが終了した場合には、お客様は本ドキュメントの全部または一部と、それらを複製したコピーのすべてを破棄したことを、CA に文書で証明する責任を負います。

準拠法により認められる限り、CA は本ドキュメントを現状有姿のまま提供し、商品性、特定の使用目的に対する適合性、他者の権利に対して侵害のないことについて、黙示の保証も含めいかなる保証もしません。また、本ドキュメントの使用に起因して、逸失利益、投資損失、業務の中断、営業権の喪失、情報の喪失等、いかなる損害(直接損害か間接損害かを問いません)が発生しても、CA はお客様または第三者に対し責任を負いません。CA がかかる損害の発生の可能性について事前に明示に通告されていた場合も同様とします。

本ドキュメントで参照されているすべてのソフトウェア製品の使用には、該当するライセンス契約が適用され、当該ライセンス契約はこの通知の条件によっていかなる変更も行われません。

本ドキュメントの制作者は CA です。

「制限された権利」のもとでの提供:アメリカ合衆国政府が使用、複製、開示する場合は、FAR Sections 12.212、52.227-14 及び 52.227-19(c)(1)及び(2)、ならびに DFARS Section 252.227-7014(b)(3) または、これらの後継の条項に規定される該当する制限に従うものとします。

Copyright © 2012 CA. All rights reserved. 本書に記載された全ての製品名、サービス名、商号およびロゴは各社のそれぞれの商標またはサービスマークです。

CA Technologies 製品リファレンス

このドキュメント セットは、以下の CA Technologies ブランドおよび製品を参照します。

- CA Agile Vision™
- CA Product Vision
- CA Clarity PPM
- CA Software Change Manager

CA への連絡先

テクニカル サポートの詳細については、弊社テクニカル サポートの Web サイト (<http://www.ca.com/jp/support/>) をご覧ください。

目次

第 1 章: 概要	9
サードパーティ統合について	9
CA Clarity PPM 統合	10
統合の前提条件.....	10
同期ジョブ.....	11
CA Agile Vision および CA Product Vision との CA Software Change Manager の統合	11
第 2 章: CA Clarity PPM と Agile Vision の統合	13
統合の概要.....	13
CA Agile Vision および CA Product Vision への CA Clarity PPM の統合方法	15
CA Clarity PPM での CA Vision アドインのインストールおよび設定	15
CA Clarity PPM から CA Agile Vision または CA Product Vision サンドボックス環境にアクセス するための URL を変更します	17
CA Clarity PPM での CA Vision アドインの設定.....	18
CA Clarity PPM の設定	20
CA Clarity PPM からデータ転送をセットアップする方法.....	22
既存の CA Vision 製品およびリリースへのリンク	23
既存の CA Vision 製品内でのリリースの作成.....	25
CA Clarity PPM からの新規プロジェクトおよびリリースの作成	26
CA Agile Vision タスク タイプの CA Clarity PPM 請求コードへのマッピング	28
CA Clarity PPM タスクの CA Product Vision 要件とのリンク方法.....	29
CA Clarity PPM からの CA Product Vision 内のロールの更新.....	31
Agile Vision プロジェクトの統合ステータスの確認.....	32
ジョブ管理.....	33
CA Agile Vision および CA Product Vision 同期ジョブ	33
CA Vision 製品同期ジョブ	33
CA Agile Vision タイムシート同期ジョブ	35
CA Product Vision 要件とタスク マッピング同期ジョブ	35
CA Product Vision ロール同期ジョブ	35

第 3 章: JIRA と CA Agile Vision の統合 37

JIRA と CA Agile Vision の統合方法	37
JIRA 上での Agile Vision プラグインのアップグレードまたはインストール	38
<JIRA> から CA Agile Vision または CA Product Vision のサンドボックス環境にアクセスするための URL の変更	39
JIRA 用の [Agile Vision 設定] の設定	40
CA Agile Vision 問題同期サービス スケジュールの設定	41
CA Agile Vision 問題同期サービスの即時実行	42
CA Agile Vision リスナの設定	43
JIRA プロジェクトの CA Agile Vision 製品へのマップ	44
JIRA 属性の CA Agile Vision 属性へのマップ	45
JIRA 属性値の CA Agile Vision 属性値へのマップ	46
JIRA および CA Agile Vision 間の問題の同期	48
CA Agile Vision の問題インポート条件の設定	49
JIRA から CA Agile Vision への問題の同期	50
問題を CA Agile Vision から JIRA に同期する方法	50
JIRA の CA Agile Vision との統合の無効化	51

第 4 章: Quality Center と CA Agile Vision の統合 53

Quality Center と CA Agile Vision の統合方法	53
Quality Center プラグインのセットアップの前提条件	54
Quality Center プラグイン パッケージのインストール	54
CA Agile Vision 用の Quality Center プラグインの設定	55
Quality Center および CA Agile Vision パスワードの変更	57
Quality Center から CA Agile Vision サンドボックス環境にアクセスするための URL を変更します	58
スケジュールされた Windows タスクとして実行するプラグインの設定	59
Quality Center プラグインのサンプル設定ファイル	60
Quality Center テストケースの CA Agile Vision への統合	61

付録 A: CA Agile Vision および CA Product Vision への CA Clarity PPM フィールドのマッピング 63

プロジェクトのマッピング	63
リソースのマッピング	64
リソースの更新	64

リソースの削除	64
リソースのマッピング	65
タスクのマッピング	66
タスクの更新.....	67
タスクの削除.....	67
フィールドと値のマッピング	68
タスク作業ログのマッピング	68
妨害マッピング	70

第 1 章：概要

このセクションには、以下のトピックが含まれています。

[サードパーティ統合について](#) (P. 9)

[CA Clarity PPM 統合](#) (P. 10)

[統合の前提条件](#) (P. 10)

[同期ジョブ](#) (P. 11)

[CA Agile Vision および CA Product Vision との CA Software Change Manager の統合](#) (P. 11)

サードパーティ統合について

CA Agile Vision および CA Product Vision を以下の CA 製品と統合するように設定できます。

- CA Clarity PPM: 従来のプロジェクト管理プロセスを採用しつつ、アジャイル環境における要件を作成および管理できます。
- <CASCМ>: CA Software Change Manager パッケージおよびパッケージ履歴情報に関する詳細を表示できます。

また、以下のサードパーティアドイン製品に CA Agile Vision を統合できます。

- JIRA。ユーザストーリーおよび問題を一箇所から管理します。各ユーザストーリーの問題に関するバックログおよびレポートで、問題を追跡します。
- HP Quality Center (Quality Center)。各ユーザストーリーから製品品質を直接追跡します。

ベスト プラクティス: 各アドインで無効なセッションを防ぐために、以下のタスクを行います。

- アドインごとに別々のシステム管理者アカウントまたはスーパーユーザアカウントを作成します。
- アドインごとに別の時間に同期ジョブを実行します。
- アドインごとに別々のシステム管理者アカウントを作成できない場合は、別の時間に同期ジョブを実行します。アカウントは重複させないでください。

CA Clarity PPM 統合

CA Agile Vision および CA Product Vision は CA Clarity PPM プロジェクトと統合できます。CA Agile Vision Enterprise Edition および CA Product Vision のライセンスが必要です。この統合を使用して、製品オーナーは、従来のプロジェクト管理プロセスに準じる一方、Agile 環境で要件を作成および管理できます。

統合には以下の機能が含まれます。

- CA Agile Vision およびユーザを CA Clarity PPM から作成および管理する。
- CA Product Vision 要件を CA Clarity PPM タスクに関連付ける。
- Agile のスプリント、ユーザストーリー、およびタスクから CA Clarity PPM の WBS を作成する。
- CA Agile Vision タスク作業ログを使用して、CA Clarity PPM タイムシートに自動入力する。
- CA Product Vision で使用するロールを CA Clarity PPM からダウンロードする。
- CA Agile Vision、CA Product Vision、および CA Clarity PPM 間で情報を転送する同期ジョブを、事前に定義された間隔でバックグラウンドで実行する。

統合の前提条件

CA Clarity PPM を CA Agile Vision、CA Product Vision または CA Agile Vision と CA Product Vision の両方と統合するには、以下のライセンスが必要です。

CA Clarity PPM と統合する製品	v12.0.6,v12.1.3、または v13.0.0 にインストールされている CA Vision アドイン	CA Agile Vision Enterprise Edition ライセンス	CA Product Vision ライセンス
CA Agile Vision	X	X	
CA Product Vision	X		X
CA Agile Vision および CA Product Vision	X	X	X

同期ジョブ

事前定義された間隔でバックグラウンドで実行され、CA Clarity PPM、CA Agile Vision、および CA Product Vision の間で情報を転送する、以下の同期ジョブが CA Clarity PPM で利用できます。

- CA Vision プロジェクト同期ジョブ。このジョブはプロジェクトとリソースの情報を CA Clarity PPM から CA Agile Vision および CA Product Vision の両方に同期します。また、このジョブは、CA Agile Vision のスプリント、ユーザストーリー、およびタスクを使用して、CA Clarity PPM 内にプロジェクトの WBS を作成します。
- CA Agile Vision タイムシート同期ジョブ。このジョブは CA Agile Vision のタスク作業ログを使用して、CA Clarity PPM の対応するリソースのタイムシートに自動入力します。
- CA Product Vision 要件とタスク マッピング同期ジョブ。このジョブは、関連するリリースの CA Product Vision 要件および CA Clarity PPM タスク情報を同期します。
- CA Product Vision ロール同期ジョブ。このジョブは CA Clarity PPM から CA Product Vision にロールをダウンロードします。

CA Agile Vision および CA Product Vision との CA Software Change Manager の統合

CA Agile Vision および CA Product Vision を CA Software Change Manager バージョン 12.1.03 以降と統合して、ユーザストーリー、問題、および要件に関連付けられているパッケージに関する情報を表示できます。

統合をセットアップするには、システム管理者は以下の手順を完了します。

- システム管理者は、CA Agile Vision および CA Product Vision と連携するように CA Software Change Manager を設定します。CA Software Change Manager の設定方法については、「*CA Software Change Manager 管理ガイド*」(CA Support で入手可能)を参照してください。
- システム管理者は、[グローバル設定]ページ(CA Vision の[管理]メニューにある)から CA Software Change Manager を有効にします。CA Software Change Manager の有効化の詳細については、CA Agile Vision および CA Product Vision の「*管理ガイド*」を参照してください。

第 2 章: CA Clarity PPM と Agile Vision の統合

このセクションには、以下のトピックが含まれています。

[統合の概要 \(P. 13\)](#)

[CA Agile Vision および CA Product Vision への CA Clarity PPM の統合方法 \(P. 15\)](#)

[CA Clarity PPM からデータ転送をセットアップする方法 \(P. 22\)](#)

[Agile Vision プロジェクトの統合ステータスの確認 \(P. 32\)](#)

[ジョブ管理 \(P. 33\)](#)

統合の概要

このドキュメントにおいて、「CA Vision」は、CA Vision 製品ファミリ (CA Agile Vision または CA Product Vision) を意味します。CA Clarity PPM と CA Agile Vision/CA Product Vision では、同じオブジェクトを異なる用語で表している場合があります。CA Clarity PPM におけるプロジェクトは、CA Agile Vision および CA Product Vision におけるリリースを意味します。

情報を共有するには、CA Clarity PPM のプロジェクトを CA Vision と関連付けます。関連付けが確立されると、CA Agile Vision または CA Product Vision の製品とリリースの詳細を指定するための CA Vision サブページが CA Clarity PPM で利用可能になります。

関連付けの行われた CA Clarity PPM プロジェクトを削除した場合、同じ CA Agile Vision または CA Product Vision リリースに別のプロジェクトをリンクすることはできません。新しい CA Clarity PPM プロジェクトを別のリリースにリンクし、新しくリンクしたリリースに詳細 (ユーザストーリー、タスク、要件) を移行できます。

統合が完了すると、CA Clarity PPM で実行されるジョブによって、CA Clarity PPM、CA Agile Vision、および CA Product Vision 内の情報が更新および同期されます。実行されるジョブは、更新される情報によって異なります。ジョブは定期的に行われるように設定できます。必要に応じて CA Clarity PPM から手動で実行することもできます。統合のジョブの詳細については、「[ジョブ管理 \(P. 33\)](#)」を参照してください。

CA Clarity PPM、CA Agile Vision、および CA Product Vision の間で更新されるフィールドの全リストについては、「[CA Agile Vision および CA Product Vision への CA Clarity PPM フィールドのマッピング \(P. 63\)](#)」を参照してください。

CA Agile Vision および CA Product Vision への CA Clarity PPM の統合方法

CA Clarity PPM を CA Product Vision および CA Agile Vision に統合するための高レベルのプロセスを以下に示します。CA Clarity PPM を CA Agile Vision、CA Product Vision、またはその両方に統合する場合でも、いずれも手順は同じです。

管理者:

1. [Agile Vision アドインをダウンロードし、抽出します。](#) (P. 15) アドインのダウンロードおよび抽出の詳細については、「*CA Agile Vision 実装ガイド*」を参照してください。
2. [CA Clarity PPM アプリケーション サービス \(app\) およびバックグラウンド サービス \(bg\) を停止します。](#) (P. 15)
詳細については、「*CA Clarity PPM インストール ガイド*」を参照してください。
3. [CA Vision アドインのインストール](#) (P. 15)
4. [CA Vision アドインを設定し、Clarity app および bg サービスを再起動します。](#) (P. 18)
詳細については、「*CA Clarity PPM インストール ガイド*」を参照してください。
5. アドインを適用します。
詳細については、「*CA Clarity PPM インストール ガイド*」を参照してください。
6. [CA Clarity PPM を設定します](#) (P. 20)。

プロジェクト マネージャ:

1. [データ転送をセットアップします。](#) (P. 22)
2. [CA Clarity PPM で統合ステータスを確認します](#) (P. 32)。

CA Clarity PPM での CA Vision アドインのインストールおよび設定

CA Vision アドインをインストールするには、アドイン ファイルをダウンロードして抽出し、CA Clarity PPM サービスを停止し、アドインをインストールします。

アドインのダウンロードおよび抽出

support.ca.com に移動し、お使いのコンピュータまたはアクセス可能なネットワーク上の場所に .iso イメージをダウンロードします。

次の手順に従ってください:

1. support.ca.com から利用可能な GEN06141215E.zip ファイルをダウンロードし解凍します。
2. 以下の URL から wsc_java15.jar ファイルをダウンロードします。
http://sfdc-wsc.googlecode.com/files/wsc_java15.jar
3. インストール プロセスを完了する CA Clarity アプリケーション サーバ上の <Clarity インストール ディレクトリ>/lib ディレクトリに wsc_java15.jar ファイルをコピーします。
4. avee.1.5.0.0158.jar ファイルを CA Clarity アプリケーション サーバ上の <Clarity インストール ディレクトリ>/lib ディレクトリにコピーします。

.jar ファイルには以下のファイルが含まれます。

.jar ファイル ix インストール スクリプト。

install.bat

Windows インストール スクリプト。

install.xml

Ant インストール スクリプトには、以下のファイルが含まれます。

install.sh

Unix インストール スクリプト。

package

更新されたファイルのディレクトリ。

tools

サポートファイルのディレクトリ。

CA Clarity PPM サービスの停止

次の手順に従ってください:

1. Clarity システム管理 (NSA) にログインします。
2. CA Clarity PPM アプリケーション サービス (app) およびバックグラウンド サービス (bg) を停止します。

アドインのインストール

アドインをインストールして、オブジェクト、レポートおよびデータベースを更新します。

重要: このアドインをインストールする前に、CA Clarity PPM インストールをバックアップし、必要に応じてアプリケーションを前のバージョンに復元できるようにします。アドインをインストールするとき、プロジェクトなどの CA Clarity PPM 標準オブジェクトのカスタマイズされたビューを上書きできます。ユーザの組織でビューをカスタマイズしている場合は、このアドインを実稼働環境にインストールする前に、テスト環境でインストールを実施し、結果を注意深く検討する必要があります。アドインをインストールすると、アンインストールすることはできません。

次の手順に従ってください:

1. .jar ファイルを抽出したディレクトリでコマンド プロンプト ウィンドウを開き、以下のコマンドを発行します。
`install`
2. Enter キーを押します。
3. 画面上の指示に従って、アドインのインストールを実行します。

CA Clarity PPM から CA Agile Vision または CA Product Vision サンドボックス環境にアクセスするための URL を変更します

CA Vision アドインのインストール後、バックグラウンド サービスを開始する前に、CA Clarity PPM が Salesforce.com へのアクセスに使用する URL を編集できます。既定の URL は通常的环境を参照します。CA Agile Vision または CA Product Vision 用にサンドボックス環境を作成し、アドインからサンドボックス環境にアクセスできるように URL を変更できます。

注: URL を変更するのは、CA Vision サンドボックス環境にアクセスする場合だけにしてください。この手順を実行するのは、サンドボックス環境を設定している場合のみです。

詳細については、Salesforce.com の「ヘルプ & トレーニング」を参照してください。

次の手順に従ってください:

1. CA Clarity PPM 管理ツールで[Vision 管理者設定]を開きます。
2. [CA Vision 環境の URL]フィールドにサンドボックス環境の URL を入力します。
3. [保存]をクリックします。

重要: 前バージョン AND からアップグレードし、かつサンドボックス サーバ URL を使用している場合は、[Vision 管理者設定]ページからサンドボックス URL を更新します。

CA Clarity PPM での CA Vision アドインの設定

インストールを実行し、オプションでサンドボックス環境用の URL 変更(オプション)を実行した後、CA Clarity PPM で CA Vision アドインを設定します。

次の手順に従ってください:

1. Clarity システム管理(NSA)にログインします。
2. CA Clarity PPM アプリケーション サービス(app) およびバックグラウンド サービス(bg)を再起動します。
3. CA Clarity PPM アプリケーションにログインし、管理ツールにアクセスします。
4. [CA Clarity Studio]メニューから[オブジェクト]を選択します。
5. プロジェクト オブジェクト名を使用してフィルタします。
オブジェクトリストが表示されます。
6. プロジェクト オブジェクトをクリックして開きます。
7. コンテンツ メニューから[表示]をクリックします。[プロジェクトのプロパティ]ビューの[レイアウト:編集]をクリックします。
プロパティレイアウトが表示されます。
8. CA Vision プロジェクト プロパティを展開し、[統合ステータス]セクションを展開します。

9. [統合ステータス]セクションの[プロパティとレイアウト]アイコンをクリックします。
セクションのプロパティが表示されます。
10. [保存して終了]をクリックします。
プロパティレイアウトが表示されます。
11. [戻る]をクリックします。
オブジェクト定義ビューが表示されます。
12. [発行]をクリックしてビューを発行します。
確認のプロンプトが表示されます。
[はい]をクリックして、ビューの発行を確認します。
13. 事前定義されたレベルで実行されるように以下のジョブを再スケジュールします。
 - CA Vision 製品同期
 - Agile Vision 作業ログ同期
 - Product Vision 要件とタスク マッピングの同期
 - Product Vision ロール同期
14. [データ管理]メニューから[プロセス]を選択します。
使用可能なプロセスのリストが表示されます。
15. 以下のプロセスをクリックして開き、コンテキストメニューから[検証]をクリックします。
 - AV フィールド ロック中
 - Product Vision マップ済みタスクの作成
 - Agile Vision タスク タイプの自動入力
 - Product Vision プロジェクトとタスク情報の同期
16. すべての検証オブジェクトを選択し、[すべてを検証してアクティブにする]をクリックします。
検証が完了すると、オブジェクトのステータスが[検証済み]に、モードが[アクティブ]にそれぞれ変わります。
17. Clarity の app および bg サービスを再起動します。

CA Clarity PPM の設定

以下の手順では、CA Agile Vision または CA Product Vision とリンクするための CA Clarity PPM のセットアップ方法を説明します。

次の手順に従ってください:

1. CA Clarity PPM にログインし、[管理ツール]にアクセスします。
2. [一般設定]メニューから[CA Vision セットアップ]を選択します。
管理者用設定ページが表示されます。
3. [CA Vision ログイン情報]セクションの以下のフィールドに入力します。

ユーザ名

システム管理者の権限で CA Agile Vision にログインするためのユーザ名を定義します。

パスワード

システム管理者の権限で Agile Vision にログインするためのパスワードを定義します。

セキュリティトークン

ログインが失敗した場合、または信頼されていないネットワークから CA Clarity PPM サーバを実行している場合に、サーバの識別に使用するセキュリティトークンを定義します。このトークンは、SalesForce.com の [Personal Setup] ページから取得できます。詳細については、SalesForce.com のオンライン ヘルプを参照してください。

CA Vision 環境の URL

CA Agile Vision または CA Product Vision の実稼働環境またはサンドボックス環境にアクセスするために CA Clarity PPM が使用する URL を指定します。

CA Vision URL

CA Clarity PPM が CA Product Vision 内の要件リストにアクセスするために使用する URL を指定します。

4. [プロキシ サーバ情報]セクションの以下のフィールドに入力します。

ホスト名

プロキシ サーバのホスト名を定義します。

ポート

プロキシ サーバのポートを定義します。

ユーザ名

プロキシ サーバのユーザ名を定義します。

パスワード

プロキシ サーバのパスワードを定義します。

5. [保存]をクリックします。

CA Clarity PPM からデータ転送をセットアップする方法

データ転送をセットアップするには、関連付けを行った CA Clarity PPM プロジェクトで CA Agile Vision または CA Product Vision 製品の詳細を指定する必要があります。データ転送をセットアップするための方法を以下に示します。

- [CA Clarity PPM からプロジェクトまたはリリースを作成します \(P. 26\)](#)。
- [CA Clarity PPM から既存の CA Agile Vision または CA Product Vision 製品およびリリースにリンクします \(P. 23\)](#)。
- [CA Clarity PPM から既存の製品内でリリースを作成します \(P. 25\)](#)。
- [CA Agile Vision タスクタイプを CA Clarity PPM 請求コードにマッピングします \(P. 28\)](#)。
- [CA Clarity PPM タスクを CA Product Vision 要件にリンクします \(P. 30\)](#)。
- [CA Clarity PPM から CA Product Vision 内のロールを更新します。\(P. 31\)](#)

CA Clarity PPM と CA Agile Vision または CA Product Vision の間でプロジェクトをリンクする際は、以下のルールが適用されます。

- 製品 ID およびリリース名を指定し、リリース ID を空白にした場合、指定した製品の新しいリリースが作成されます。
- 製品と、リリース ID およびリリース名の両方を指定した場合、リリース名は無視され、リリース ID を使用して、既存の製品とリンクされます。
- 製品またはリリースを作成すると、CA Clarity PPM プロジェクトの説明が製品またはリリースの説明として追加されます。スーパー ユーザはこの説明を変更できます。変更した説明は CA Clarity PPM によって上書きされません。
- すべてのフィールドを空白にすると、同期ジョブが失敗し、CA Agile Vision での新規作成またはリンクは行われません。

ベスト プラクティス: CA Clarity PPM プロジェクトを CA Agile Vision または CA Product Vision にリンクする場合は、以下の前提条件を確認します。

- 工数タスクの自動作成のオプションがオフになっている。
- 現在、CA Clarity PPM プロジェクトにタスクが存在しない。

既存の CA Vision 製品およびリリースへのリンク

既存の CA Vision リリースにリンクするには、CA Clarity PPM プロジェクトで製品 ID およびリリース ID を指定します。製品リリースまたはマスターリリースにリンクすることができます。マスターリリースにリンクすると、マスターリリースに割り当てられているすべてのユーザストーリーおよびタスクを CA Clarity PPM 内で表示できます。

次の手順に従ってください：

1. CA Clarity PPM で、CA Vision 製品に関連付けるプロジェクトを開きます。
プロジェクトのプロパティが表示されます。
2. [CA Vision にリンク済み]チェック ボックスをオンにし、[保存]をクリックします。
3. コンテンツ メニューから[CA Vision]をクリックします。
CA Vision のプロパティ ページが表示されます。
4. 以下のフィールドに入力します。

CA Vision マスタ リリース ID

既存のマスターリリースのリリース ID を定義します。この値は、このプロジェクトを CA Agile Vision または CA Product Vision 内の既存のマスターリリースにリンクするために使用されます。リンクが正常に確立されると、このフィールドは表示専用になります。

ソース: CA Agile Vision または CA Product Vision の[マスターリリースの詳細]ページの[マスターリリース ID]フィールド。

注: マスタ リリースの代わりに製品リリースにリンクする場合は、このフィールドを空欄にしておきます。

CA Vision 製品 ID

CA Agile Vision または CA Product Vision の既存製品の製品 ID を定義します。この値は、CA Clarity PPM プロジェクトを既存の製品にリンクするために使用されます。リンクが正常に確立されると、このフィールドは表示専用になります。

ソース: CA Agile Vision または CA Product Vision の[製品の詳細]ページの[製品 ID]フィールド。

CA Vision リリース ID

CA Agile Vision または CA Product Vision の既存リリースのリリース ID を定義します。この値は、CA Clarity PPM プロジェクトを既存のリリースにリンクするために使用されます。リンクが正常に確立されると、このフィールドは表示専用になります。

ソース: CA Agile Vision または CA Product Vision の[リリース詳細]ページの[リリース ID]フィールド。

注: 次のフィールドを空欄にしておきます: [CA Vision 製品名]、[CA Vision リリース名]、および[製品プレフィクス]。

5. 変更結果を提出します。

CA Vision 製品同期ジョブが実行されると、CA Clarity PPM の以下のフィールドに値が自動的に入力されます。

CA Vision 製品名

製品名が表示されます。この値は、CA Agile Vision または CA Product Vision から自動的に取得されます。

ソース: CA Agile Vision または CA Product Vision の[製品の詳細]ページの[製品名]フィールド。

CA Vision リリース名

Agile Vision のリリース名が表示されます。この値は、CA Agile Vision から自動的に取得されます。

ソース: CA Agile Vision の[リリース詳細]ページの[リリース名]フィールド。

製品プレフィクス

Agile Vision 製品での、ユーザストーリーおよびタスクの一意のプレフィクスが表示されます。

ソース: Agile Vision の[製品の詳細]ページの[製品プレフィクス]フィールド。

既存の CA Vision 製品内でのリリースの作成

既存の CA Agile Vision または CA Product Vision 製品内でリリースを作成するには、CA Clarity PPM プロジェクトで製品 ID およびリリース名を指定します。

リリース ID、製品名、および製品プレフィックスの値は定義しません。

次の手順に従ってください:

1. CA Clarity PPM で、プロジェクトを開き、このプロジェクトを CA Vision に関連付けます。それには、[CA Vision にリンク済み]チェックボックスをオンにし、[保存]をクリックします。

プロジェクトのプロパティが表示されます。

2. コンテンツメニューから[CA Vision]をクリックします。

CA Vision のプロパティページが表示されます。

3. 以下のフィールドに入力します。

CA Vision 製品 ID

CA Agile Vision または CA Product Vision の既存製品の製品 ID を定義します。この値は、CA Clarity PPM プロジェクトを既存の製品にリンクするために使用されます。リンクが正常に確立されると、このフィールドは表示専用になります。

ソース: CA Agile Vision または CA Product Vision の[製品の詳細]ページの[製品 ID]フィールド。

CA Vision リリース名

作成する新しい CA Agile Vision リリースの名前を定義します。

注: 次のフィールドを空欄にしておきます: [CA Vision リリース ID]、[CA Vision 製品名]、および[製品プレフィックス]。

4. 変更結果を提出します。

CA Vision 製品同期ジョブが実行されると、CA Clarity PPM の以下のフィールドに値が自動的に入力されます。

CA Vision リリース ID

CA Agile Vision または CA Product Vision リリース ID が表示されます。この値は、CA Agile Vision または CA Product Vision から自動的に取得されます。

ソース: CA Agile Vision または CA Product Vision の[リリース詳細]ページの[リリース ID]フィールド。

CA Vision 製品名

製品名が表示されます。この値は、CA Agile Vision または CA Product Vision から自動的に取得されます。

ソース: CA Agile Vision または CA Product Vision の[製品の詳細]ページの[製品名]フィールド。

製品プレフィクス

CA Agile Vision または CA Product Vision 内の製品に割り当てられた一意のプレフィクスが表示されます。

ソース: CA Agile Vision または CA Product Vision の[製品の詳細]ページの[製品プレフィクス]フィールド。

CA Clarity PPM からの新規プロジェクトおよびリリースの作成

CA Clarity PPM 内でプロジェクトを作成し、CA Agile Vision または CA Product Vision 内でリリースを作成するには、CA Clarity PPM プロジェクトで製品名およびリリース名を指定します。

次の手順に従ってください:

1. CA Clarity PPM へログインします。
2. [ポートフォリオ管理]メニューから[プロジェクト]を選択します。
プロジェクトリスト ページが表示されます。
3. [新規]をクリックして新しいプロジェクトを作成し、必要なフィールドに値を入力して、[保存]をクリックします。
[プロパティ]ページが表示されます。
4. [CA Vision にリンク済み]チェック ボックスをオンにし、[保存]をクリックします。
2 つの CA Vision オプションがコンテンツ メニューに表示されます
5. コンテンツ メニューから[CA Vision]をクリックします。
CA Vision のプロパティ ページが表示されます。
6. 以下のフィールドに入力します。

CA Vision 製品名

作成する新しい CA Vision 製品の名前を定義します。

CA Vision リリース名

作成する新しい CA Vision リリースの名前を定義します。

製品プレフィクス

ユーザーストーリーおよびタスクの製品名に追加する、一意のプレフィクスを定義します。製品の作成後は、プレフィクスを変更できません。

制限: 6 文字

注: 次のフィールドを空欄にしておきます: [CA Vision 製品 ID] および [CA Vision リリース ID]。

7. 変更結果を提出します。

CA Vision プロジェクト同期ジョブを実行した後、CA Clarity PPM の以下のフィールドに値が自動入力されます。新規製品とリリースは CA Agile Vision および CA Product Vision で作成されます。

CA Vision 製品 ID

CA Vision の製品 ID が表示されます。この値は、CA Agile Vision または CA Product Vision から自動的に取得されます。

ソース: CA Agile Vision または CA Product Vision の [製品の詳細] ページの [製品 ID] フィールド。

CA Vision リリース ID

CA Vision のリリース ID が表示されます。この値は、CA Agile Vision または CA Product Vision から自動的に取得されます。

ソース: CA Agile Vision または CA Product Vision の [リリース詳細] ページの [リリース ID] フィールド。

CA Agile Vision タスク タイプの CA Clarity PPM 請求コードへのマッピング

CA Clarity PPM で請求コードをプロジェクトタスクに割り当てている場合、これらの請求コードを CA Agile Vision のタスクタイプにマッピングできます。タスクタイプを請求コードにマッピングすると、リンクされたタスクの実績値に適切な請求コードを割り当てることができます。

プロジェクト マネージャは以下のグローバル アクセス権とインスタンス アクセス権が必要です。アクセス権が与えられていると、プロジェクト マネージャは請求コードにタスクタイプをマッピングし、CA Agile Vision タスクタイプの自動入力プロセスを実行できます。

- タスクタイプおよび請求コード マッピング - 作成
- タスクタイプおよび請求コード マッピング - すべて編集
- プロセス開始

ベスト プラクティス:

- 請求コードのマッピングを誤って削除した場合、[CA Agile Vision タスクタイプの自動入力]プロセスを手動で実行すると、削除したマッピングを復元できます。

詳細については、「CA Clarity PPM 管理ガイド」を参照してください。

- タスクタイプは、1 つの請求コードにしかマップできません。CA Agile Vision でタスクにタスクタイプが定義されていない場合は、CA Clarity PPM で既定の請求コードを割り当てることができます。

次の手順に従ってください:

1. CA Clarity PPM で、リンクされたプロジェクトを開きます。
プロジェクトのプロパティが表示されます。

2. コンテンツ メニューから[CA Vision タスク タイプ マッピング]をクリックします。

CA Vision のタスク タイプおよび請求コード マッピング ページが表示されます。

3. [新規]をクリックします。

マッピングの作成ページが表示されます。

4. 以下のフィールドに情報を入力し、提出します。

タスクタイプ

タスクの CA Agile Vision タスク タイプを定義します。

請求コード

同じタスクに CA Clarity PPM の請求コードを定義します。

CA Clarity PPM タスクの CA Product Vision 要件とのリンク方法

CA Product Vision 要件を CA Clarity PPM タスクにマップします。タスクを要件にリンクするには、以下の手順を完了します。

1. [前提条件の確認](#) (P. 29)
2. [CA Clarity PPM のアクセス権の確認](#) (P. 30)
3. [CA Clarity PPM タスクの CA Product Vision 要件との](#) (P. 30)リンク

前提条件の確認

リンクする CA Product Vision 要件は CA Clarity PPM から選択できる必要があります。

どんな要件でも、追加した後は必ず CA Vision 製品同期ジョブを実行する必要があります。

CA Clarity PPM のアクセス権の確認

以下の CA Clarity PPM アクセス権を保持していることを確認します。

- マップされたタスク- 作成
- マップされたタスク- すべて編集
- CA Product Vision 要件- 作成
- CA Product Vision 要件- すべて編集
- 要件とタスクのマッピング- 作成
- 要件とタスクのマッピング- すべて編集

CA Clarity PPM タスクの CA Product Vision 要件へのリンク

CA Clarity PPM のタスクを CA Product Vision の要件にリンクすることができます。複数のタスクを単一の要件にリンクすることができ、複数の要件を単一のタスクにリンクすることができます。

次の手順に従ってください:

1. CA Clarity PPM で、リンクされたプロジェクトを開きます。
プロジェクトのプロパティが表示されます。
2. [タスク]タブをクリックし、[WBS]タブをクリックします。
3. タスクを探し、[マップ済み要件]列のアイコンをクリックします。
[マップ済みタスク: プロパティ]ページが表示され、コンテンツメニューの [要件とタスクのマッピングリスト] オプションが選択されます。
4. [新規]をクリックします。
[要件とタスクのマッピング プロパティの作成]ページが表示されます。
5. [参照]アイコンをクリックし、タスクにマップする CA Product Vision 要件を選択します。
6. [Save]をクリックします。

要件が一覧表示された [マップ済みタスク: プロパティ]ページが表示されます。

注: 要件をタスクに追加すると、要件リストに CA Product Vision 要件情報が自動入力されます。リストが空の場合は、ページをリフレッシュします。

7. 以下のいずれかを選択します。

- タスクに別の要件をマップするには、[新規]をクリックします。
- WBSに戻るには、要件の[タスク WBS]アイコンをクリックします。

次回 *CA Product Vision* 要件とタスクのマッピング同期ジョブを実行すると、リンクされたタスクおよび要件に関する情報で *CA Product Vision* が更新されます。

注: 同期ジョブでは、*CA Product Vision* から *CA Clarity PPM* への要件のバージョン番号およびバージョンステータスの同期は実行されません。

CA Clarity PPM からの CA Product Vision 内のロールの更新

CA Clarity PPM から CA Product Vision にロールとロール階層をダウンロードできます。ロールをダウンロードすると、CA Clarity PPM 内のすべてのロールを CA Product Vision 内で利用できるようになります。

CA Clarity PPM のロールで CA Product Vision のロールを更新するには、CA Product Vision ロール同期ジョブを実行します。

Agile Vision プロジェクトの統合ステータスの確認

CA Clarity PPM プロジェクトを CA Agile Vision にリンクしたら、CA Agile Vision プロパティ ページで統合ステータスを確認します。統合が成功している場合、CA Agile Vision と CA Clarity PPM 間でデータが転送されています。統合が成功していない場合、以下のような問題が考えられます。

- CA Agile Vision 管理設定 ページ上の Salesforce.com または CA Agile Vision の認証情報が間違っている。
- Salesforce.com ネットワークが停止している。
- 入力した CA Agile Vision 製品 ID またはリリース ID が間違っている。
- 作成しようとしている CA Agile Vision プロジェクトがすでに存在する。
- CA Agile Vision リリースが、すでに別の CA Clarity PPM プロジェクトにリンクされている。

いずれかの情報の入力間違っている場合、正しい値を再入力して、CA Agile Vision 製品同期ジョブを実行し、統合を再度試行してください。

次の手順に従ってください:

1. CA Clarity PPM でプロジェクトを開き、コンテンツ メニューから [CA Vision] をクリックします。

CA Vision のプロパティ ページが表示されます。

2. 以下のフィールドの情報を確認します。

同期ステータス

CA Vision プロジェクト同期ジョブのステータスが表示されます。ステータスは、成功、保留、失敗のいずれかです。

同期の詳細情報

前回実行した日時などのジョブ ステータスの詳細が表示されます。ジョブが失敗した場合、発生したエラーの詳細が表示されます。

ジョブ管理

CA Agile Vision および CA Product Vision 同期ジョブ

CA Clarity Agile Enterprise アドインをインストールすると、以下のジョブが使用可能になり、CA Clarity PPM 内でアクティブになります。

- CA Agile Vision プロジェクト同期
- CA Agile Vision タイムシート同期
- CA Product Vision 要件とタスク マッピング同期
- CA Product Vision ロール同期

デフォルトでは、これらのジョブは、事前定義された間隔(毎日午前 9 時)に自動実行されるようにスケジュールされています。これらのジョブの既定のスケジュールは、ユーザの組織のニーズに合うように変更できます。また、ジョブをただちに実行して、CA Agile Vision から CA Clarity PPM へデータを移動できます。

CA Clarity PPM からのジョブのスケジュール設定および実行方法の詳細については、「[CA Clarity PPM 管理ガイド](#)」を参照してください。

CA Agile Vision 同期ジョブは、以下の CA Clarity PPM ジョブと同時に実行できません。

- タイムシートのポスト
- タイム スライス付け
- アード バリューストの更新
- アード バリュースト履歴の更新

CA Vision 製品同期ジョブ

CA Vision 製品同期ジョブでは以下の項目を同期します。

- プロジェクトとリソース(CA Clarity PPM から CA Agile Vision へ)
- タスク(CA Agile Vision から CA Clarity PPM へ)

製品同期の詳細

CA Clarity PPM では、このジョブにより CA Vision サブページの以下のフィールドが自動入力されます。

- CA Vision 製品名
- CA Vision リリース名

CA Agile Vision では、このジョブにより、リリース開始日とリリース日が、CA Clarity PPM のプロジェクト開始日/終了日で置換されます。

注: 多数のプロジェクトの内 1 つでも失敗すると、製品同期ジョブは「失敗」ステータスを報告します。「失敗」ステータスは、対処が必要なプロジェクトが少なくとも 1 つあることを管理者に通知します。このステータスは、すべてのプロジェクトが失敗したことを意味するわけではありません。対処が必要なプロジェクトとその理由を確認するには、CA Clarity PPM の同期ジョブのログ ページを参照します。

リソース同期の詳細

CA Agile Vision では、リソースが既存の Salesforce.com ユーザでない限り、ジョブによってユーザが作成されます。

以下のフィールドが CA Clarity PPM から取得されます。

- 名
- 姓
- 電子メール
- ユーザ名

タスク同期の詳細

CA Clarity PPM では、ジョブによって以下の種類のタスクが、CA Agile Vision のスプリント、ユーザストーリー、およびタスクを使用するプロジェクトのタスク WBS に自動入力されます。

- 要約タスク
- 詳細タスク
- 未スケジュール タスク

CA Agile Vision タイムシート同期ジョブ

CA Agile Vision タイムシート同期ジョブにより、CA Clarity PPM の以下の項目が CA Agile Vision のタスク作業ログから自動入力されます。

- タスクの実績時間
- タイムシート上で指定された日付の、リソースの作業時間と ETC

タイムシート同期ジョブを実行するたびに、CA Clarity PPM でタイムシートに行った変更は上書きされます。ただしこれは、タイムシートのステータスがオープンである場合に限りです。

ベスト プラクティス: CA Agile Vision ですべての更新を行うと、次回タイムシート同期ジョブの実行時に、CA Clarity PPM タイムシートで変更が更新されます。CA Agile Vision タスクを CA Clarity PPM タイムシート内で更新する必要はありません。

CA Product Vision 要件とタスク マッピング同期ジョブ

このジョブは、CA Clarity PPM プロジェクトタスクと CA Product Vision 要件の関係を同期します。データは CA Clarity PPM から CA Product Vision および CA Product Vision から CA Clarity PPM へ流れます。

CA Product Vision ロール同期ジョブ

このジョブは、CA Clarity PPM 内で定義されたすべてのロールを CA Product Vision にダウンロードします。

ロール同期ジョブには、以下のパラメータがあります。

CA Product Vision ロールの上書き

ジョブの実行時に CA Product Vision 内の既存のロールを上書きできるかどうかを指定します。現在のロールを上書きするには、チェック ボックスをオンにします。

第 3 章: JIRA と CA Agile Vision の統合

このセクションには、以下のトピックが含まれています。

[JIRA と CA Agile Vision の統合方法](#) (P. 37)

[JIRA および CA Agile Vision 間の問題の同期](#) (P. 48)

JIRA と CA Agile Vision の統合方法

JIRA に CA Agile Vision を統合するには、JIRA の以下のバージョンのいずれかがインストールされ、実行されていることを確認します。

- 4.1.x
- 4.2.x
- 4.3.x

JIRA を CA Agile Vision と統合するには、以下の手順に従います。

1. [JIRA サーバに CA Agile Vision プラグインをインストールします](#) (P. 38)。
2. [CA Agile Vision セットアップ用に JIRA を設定します](#) (P. 40)。
3. CA Agile Vision を有効にして JIRA と統合します。

詳細については、CA Agile Vision のオンライン ヘルプを参照してください

4. 以下の追加手順を完了します。
 - [CA Agile Vision 問題同期サービス スケジュールを設定します](#) (P. 41)。
 - [CA Agile Vision リスナを設定します](#) (P. 43)。
 - [JIRA プロジェクトを CA Agile Vision プロジェクトにマッピングします](#) (P. 44)。
 - [JIRA 属性を CA Agile Vision 属性にマップします](#) (P. 45)。
 - [JIRA 属性値を CA Agile Vision 属性値にマップします](#) (P. 46)。

JIRA 上での Agile Vision プラグインのアップグレードまたはインストール

既存の Agile Vision プラグインをアップグレードしている場合は、JIRA サーバを起動する前に <JIRA インストール ディレクトリ>/atlassian-jira/WEB-INF/lib ディレクトリから以下のファイルを削除します。

- wsc_java15.jar
- ca-agile-jira-integration-1.x.jar

以下の手順に従って、Jira 上の Agile Vision プラグインをアップグレードするか、新規インストールします。

次の手順に従ってください:

1. support.ca.com から入手可能な GEN06140936E.zip ファイルをダウンロードします。

ZIP ファイルには jar ファイルが含まれます。

2. ZIP ファイルから jar ファイルを抽出します。

3. Jira 4.1.x および 4.2.x の場合:

- a. JIRA をシャットダウンして、ca-agile-jira-integration-1.5.jar を <jira_home>/plugins/installed-plugins にコピーします。
- b. JIRA を再起動します。

インストールが完了するまで、少し時間がかかります。

4. JIRA 4.3.x の場合:

- a. 管理者として JIRA へログインします。
- b. [管理]をクリックし、[システム]から[プラグイン]をクリックします。
- c. [インストール]タブをクリックします。
- d. [プラグインのアップロード]をクリックし、ローカルドライブから ca-agile-jira-integration-1.5.jar を選択します。

インストールが完了するまで、少し時間がかかります。

注: 12 のモジュールがすべて有効であることを確認します。モジュールが有効でない場合、プラグインをアンインストールしてから、再インストールしてください。

<JIRA> から CA Agile Vision または CA Product Vision のサンドボックス環境にアクセスするための URL の変更

CA Vision アドインのインストール後、JIRA が Salesforce.com へのアクセスに使用する URL を編集できます。既定の URL は通常的环境を参照します。CA Agile Vision または CA Product Vision 用のサンドボックス環境を作成し、アドインがサンドボックス環境にアクセスできるように URL を変更できます。

注: URL を変更するのは、CA Vision サンドボックス環境にアクセスする場合だけにしてください。このタスクは、サンドボックス環境を作成している場合にのみ行ってください。

詳細については、Salesforce.com の「ヘルプ & トレーニング」を参照してください。

次の手順に従ってください:

1. JIRA を停止します。
2. 一時ディレクトリを作成します (例: C:¥jira_temp)。
3. JIRA のインストール ディレクトリ下の lib ディレクトリにある ca-agile-jira-integration-1.3.jar ファイルを一時ディレクトリにコピーします。
4. ca-agile-jira-integration-1.3.jar ファイルを以下のように解凍します。

```
jar -xvf ca-agile-jira-integration-1.3.jar
```
5. jiraintegration.properties ファイルを編集して、既定の URL を変更します。
変更前の URL:
avee.endpoint=https://www.salesforce.com/services/Soap/u/18.0
これを以下のようにします。
avee.endpoint=https://test.salesforce.com/services/Soap/u/18.0
6. .properties ファイルを保存します。
7. jar ファイルを以下のコマンドで再作成します。

```
jar -cvf ca-agile-jira-integration-1.3.jar
```
8. ca-agile-jira-integration-1.3.jar ファイルを、JIRA のインストール ディレクトリ下の lib ディレクトリにコピーします。
9. 一時ディレクトリ(c:¥jira_temp)を削除します。
10. JIRA を再起動します。

JIRA 用の [Agile Vision 設定] の設定

相互接続できるように、JIRA プラグインの CA Agile Vision 組織詳細を設定します。設定の保存後、CA Agile Vision への接続をテストします。CA Agile Vision 組織への接続成功またはエラーのいずれかを示すメッセージが表示されます。接続エラーは以下の理由で発生します。

- 間違った CA Agile Vision 認証情報
- ネットワークの問題

次の手順に従ってください:

1. 管理者として JIRA へログインします。
2. [Administration] をクリックします。
[Administration] ページが表示されます。
3. [Plug-ins] - [Other] メニューから [Configuration] をクリックします。
設定ページが表示されます。
4. 以下の CA Agile Vision 組織詳細を入力します。

User Name

システム管理者の権限で CA Agile Vision にログインするためのユーザー名を定義します。

Password

システム管理者の権限で CA Agile Vision にログインするためのパスワードを定義します。

Security Token

ログインが失敗した場合、または信頼されていないネットワークから JIRA サーバが実行されている場合に、サーバの識別に使用するセキュリティトークンを定義します。このトークンは、Salesforce.com の [Personal Setup] ページから取得できます。詳細については、Salesforce.com のオンライン ヘルプを参照してください。

プロキシ サーバ ホスト名

プロキシ サーバのホスト名を定義します。

プロキシ サーバ ポート

プロキシ サーバのポートを定義します。

プロキシ サーバ ユーザ名

プロキシ サーバのユーザ名を定義します。

プロキシ サーバ パスワード

プロキシ サーバのパスワードを定義します。

5. [保存]をクリックします。

CA Agile Vision 問題同期サービス スケジュールの設定

JIRA 管理者として、一定の間隔で CA Agile Vision 問題同期サービスを実行し、CA Agile Vision と JIRA 間で問題が同期されるように設定します。また、[同期ジョブを今すぐ実行]オプションも使用できます。ジョブ実行の進捗を表示するには、JIRA_HOME ディレクトリにある `atlassian-jira.log` ファイルを参照してください。

注: 問題同期サービス スケジュールを設定すると、同期ジョブはすぐに実行されます。また、[同期ジョブを今すぐ実行]オプションは一時的に無効になります。ジョブが完了すると、このオプションは再び有効になります。

次の手順に従ってください:

1. JIRA で [Administration] をクリックします。
2. [Administration] ページが表示されます。
3. [System] メニューから [Services] をクリックします。
サービスの一覧ページが表示されます。
4. [Add Service] セクションで、以下のフィールドに入力します。

Name

問題同期サービス名を定義します。

値: CA Agile Vision 問題同期サービス

Class

問題同期サービス クラスを定義します。

値: `com.ca.agile.integration.jira.job.AgileVisionIssueSyncService`

Delay

各同期サービス実行時間の間の遅延を分単位で定義します。推奨される間隔は 360 分です。

既定: 1 分 (サービスは毎分実行されます)

5. [サービスの追加]をクリックします。

CA Agile Vision 問題同期サービスの即時実行

JIRA 管理者として、CA Agile Vision 問題同期サービスを随時実行して、CA Agile Vision から更新された問題を表示できます。別のジョブ インスタンスが同時に実行されている場合、このリクエストはスキップされます。また、メッセージが JIRA_HOME ディレクトリにある `atlassian-jira.log` ファイルに表示されます。

[Issue Sync Service] ページには、ジョブ ステータス (実行中、完了)、リクエストタイプおよびジョブ開始時間が表示されます。ジョブ ステータスは、随時リフレッシュできます。ジョブが失敗する場合、推奨されるアクションと共にエラーメッセージが表示されます。エラーが発生するのは、通常 CA Agile Vision への接続を確立できない場合、または同期ジョブがすでに実行されている場合です。

次の手順に従ってください:

1. JIRA で [Administration] をクリックします。
[Administration] ページが表示されます。
2. [CA Agile Vision] メニューから [同期ステータス] をクリックします。
[CA Agile Vision 問題同期ステータス] ページが表示されます。
3. [同期ジョブを今すぐ実行] をクリックします。
4. ログ ファイルに移動して、ジョブの進捗を表示します。

CA Agile Vision リスナの設定

JIRA または CA Agile Vision で問題が削除された場合に同期ジョブを実行すると、その問題が他のアプリケーションからも削除されるように CA Agile Vision リスナを設定します。

リスナを随時削除して、JIRA から CA Agile Vision へのすべての更新を停止できます。

次の手順に従ってください:

1. JIRA で[Administration]をクリックします。
[Administration]ページが表示されます。
2. [System]メニューから[Listeners]をクリックします。
リスナの一覧ページが表示されます。
[Add Listener]セクションで、以下のフィールドに入力します。

Name

CA Agile Vision リスナの名前を定義します。

値: CA Agile Vision 問題リスナ

Class

リスナのクラスを定義します。

値: com.ca.agile.integration.jira.listener.AgileVisionIssueListener

3. [Add]をクリックします。

JIRA プロジェクトの CA Agile Vision 製品へのマップ

JIRA プロジェクトを CA Agile Vision 製品にマップして、問題を接続し、追跡します。

また、これらのマッピングを希望に応じて、どの時点でも削除できます。JIRA でプロジェクトを削除すると、以下が発生します。

- JIRA プロジェクトが CA Agile Vision 製品からリンク解除されます。
- JIRA から CA Agile Vision にインポートした問題は保持されますが、同期は行われません。ただし、ユーザ ストーリーからそれらの問題を表示したり、それらの問題にリンクすることはできます。
- 問題は JIRA から削除されます。

次の手順に従ってください:

1. JIRA で[Administration]をクリックします。
[Administration]ページが表示されます。
2. [CA Agile Vision]メニューから[プロジェクト マッピング]をクリックします。
[CA Agile Vision JIRA プロジェクト マッピング]ページが表示されます。
3. [プロジェクト マッピングの追加]セクションの以下のフィールドに値を入力します。

CA Agile Vision 製品

JIRA プロジェクトにマップする CA Agile Vision 製品を定義します。

JIRA プロジェクト

CA Agile Vision 製品にマップする JIRA プロジェクトを定義します。

4. [マッピングの追加]をクリックして、マッピングをリストに追加します。

JIRA 属性の CA Agile Vision 属性へのマップ

JIRA 属性を CA Agile Vision 属性にマップして、JIRA の問題と CA Agile Vision の問題を接続します。これらのマッピングは、希望に応じて、どの時点でも編集または削除できます。

以下の属性タイプをマップできます。

- テキスト(たとえば、タイトル)
- 無制限のテキスト(たとえば、説明)
- 数(たとえば、ポイント)
- 単一選択(たとえば、優先度)
- 複数選択(たとえば、テーマ)。

また、任意のカスタム JIRA フィールドを CA Agile Vision 属性にマップできます。

次の手順に従ってください:

1. JIRA で[Administration]をクリックします。
[Administration]ページが表示されます。
2. [CA Agile Vision]メニューから[プロジェクト マッピング]をクリックします。
マップされたプロジェクトが一覧表示された[CA Agile Vision JIRA プロジェクト マッピング]ページが表示されます。
3. マッピング テーブルの[操作]列で、そのために属性をマップする CA Agile Vision 製品および JIRA プロジェクトの隣の[属性マッピング]をクリックします。
既定ではマップされる属性が表示された[CA Agile Vision JIRA プロジェクト 属性マッピング]ページが表示されます。
4. [編集]をクリックして、残りの属性をマップします。
[プロジェクト属性マッピング]ページで、CA Agile Vision 属性および JIRA フィールドのリストがリフレッシュされます。
5. 各 CA Agile Vision 属性について、ドロップダウンから一致する JIRA フィールドを選択し、[保存]をクリックします。

以下のテーブルで、デフォルトでマップされる属性について説明します。

CA Agile Vision 属性	利用可能な JIRA 問題フィールド
タイトル	Summary
ステータス	Status
優先度	Priority
予期される結果	なし
回避策	なし
実際の結果	なし
影響を受けるリリース	影響を受けるバージョン

JIRA 属性値の CA Agile Vision 属性値へのマップ

複数の値が属性に利用可能な場合、属性をマッピングした後、JIRA 属性値を CA Agile Vision 属性値にマッピングできます。

CA Agile Vision で以下の属性値を変更すると、同期ジョブ実行後に、その変更が JIRA に反映されます。

- CA Agile Vision で属性値の名前が変更されると、名前が変更された値が JIRA に表示されます。
- CA Agile Vision で属性値が削除されると、削除された値は JIRA に表示されません。以前マップされた値も表示されません。マップされた値がなかったために指定されたレコードが同期できなかったことを示すメッセージが、同期ジョブ ログ ファイルに表示されます。

次の手順に従ってください:

1. [CA Agile Vision 属性マッピング] ページ上で、値をマップする CA Agile Vision 属性および JIRA フィールドの隣の [値のマッピング] をクリックします。
[CA Agile Vision JIRA プロジェクト属性値マッピング] ページが表示されます。
2. 各 CA Agile Vision 属性値について、ドロップダウンから一致する JIRA フィールド値を選択し、[保存] をクリックします。

以下のテーブルに、デフォルトでマップされる属性を表示します。

CA Agile Vision 属性値	JIRA フィールド値
ステータス: <ul style="list-style-type: none"> ■ 計画済み ■ 進行中 ■ クローズ 	ステータス: <ul style="list-style-type: none"> ■ オープン ■ 進行中 ■ 再オープン ■ 解決済み ■ クローズ
優先度: <ul style="list-style-type: none"> ■ 非常に高い ■ 高 ■ 中 ■ 低 ■ 非常に低い ■ 非優先 	優先度: <ul style="list-style-type: none"> ■ ブロック ■ 重要 ■ メジャー ■ マイナー ■ 簡易 ■ なし
影響を受けるリリース: 選択した製品の影響を受けるリリース。	影響を受けるバージョン: JIRA 管理者によって定義される影響を受けるバージョン
修正リリース: 選択した製品の修正リリース。	修正バージョン: JIRA 管理者によって定義される修正バージョン

JIRA および CA Agile Vision 間の問題の同期

JIRA で事前定義済みの以下の情報に基づいて、JIRA と CA Agile Vision の間で新規の問題と既存の問題の変更を同期できます。

- バグと呼ばれる JIRA 問題タイプ。
- CA Agile Vision および JIRA プロジェクト、属性、および値マッピング。
- 問題同期サービス スケジュール

JIRA で問題を削除すると、同期ジョブの実行後、その問題は CA Agile Vision から削除されます。また、その逆の場合も同様です。

JIRA と CA Agile Vision/CA Product Vision では、同じオブジェクトを異なる用語で表している場合があります。JIRA の「担当者」は、CA Agile Vision および CA Product Vision では「オーナー」と呼ばれています。

CA Agile Vision の「問題オーナー」と、JIRA の「問題担当者」を同期させます。CA Agile Vision でリンクされた問題を作成または更新し、そのオーナーを選択します。JIRA 内の [Issue Navigator] ページ上の [Assignee] 列に同じオーナーが反映されます。CA Agile Vision 内で問題に関してオーナーが行う更新またはコメントのすべてが、JIRA の問題の詳細に反映されます。また、その逆の場合も同様です。同じオーナーと担当者の電子メール アドレスを使用することで、CA Agile Vision および JIRA の間でオーナーと担当者が同期されます。

オーナーと担当者は、電子メール アドレスを使用して CA Agile Vision と JIRA の間でリンクされます。一致する電子メール アドレスが見つかった場合、担当者としてオーナーはリンクされています。

一致する電子メール アドレスがない場合、担当者としてオーナーにリンクされていません。

同じ電子メール アドレスで複数の JIRA ユーザが見つかった場合は、エラーがログにレポートされます。競合が解決されれば、担当者はオーナーにリンクされます。CA Agile Vision は複数のオーナーをサポートします。しかし、JIRA 問題との同期については、1 人のオーナーのみが JIRA の問題担当者にリンクされます。

CA Agile Vision の問題インポート条件の設定

JIRA 管理者は、フィルタ条件を設定して、CA Agile Vision にインポートする問題のタイプを定義できます。この条件に基づいて、JIRA の問題は CA Agile Vision バックログに追加されます。

たとえば、以下のフィルタ条件を設定した場合：

- 影響を受けるバージョン：リリース A
- 修正バージョン：リリース B およびリリース C

同期ジョブが実行された後、Agile Vision にインポートされた以下のみが表示されます。

- リリース A に影響する JIRA の問題
- リリース B または C に影響する修正

次の手順に従ってください：

1. JIRA の [CA Agile Vision JIRA プロジェクト マッピング] ページ上で、マップされた JIRA プロジェクトの隣の [インポート条件] をクリックします。

[CA Agile Vision JIRA プロジェクトのインポート条件] ページが表示されます。

2. 以下のフィルタ条件から選択します。

ステータス

CA Agile Vision へインポートする問題ステータスを定義します。

優先度

CA Agile Vision へインポートする問題優先度を定義します。

影響を受けるバージョン

CA Agile Vision へインポートする問題によって影響を受ける JIRA プロジェクトのバージョンを定義します。

修正バージョン

CA Agile Vision へインポートする修正によって影響を受ける JIRA プロジェクトのバージョンを定義します。

3. [保存] をクリックします。

JIRA から CA Agile Vision への問題の同期

JIRA で問題を作成し、その問題を CA Agile Vision に同期することができます。

次の手順に従ってください:

1. JIRA で、CA Agile Vision 製品にマップされるプロジェクト用の問題を作成します。
2. JIRA で、問題同期サービス ジョブをただちに、または事前定義された間隔で実行します。
3. CA Agile Vision のバックログ ページで、JIRA プロジェクトにマップされた製品をフィルタします。

JIRA の問題は、バックログにリスト表示されます。この問題を変更するか、マップされた製品に関連付けられたユーザ ストーリーからこの問題にリンクすることができます。

詳細については、「CA Agile Vision ユーザ ガイド」を参照してください。

問題を CA Agile Vision から JIRA に同期する方法

CA Agile Vision で問題を作成し、その問題を JIRA に同期することができます。

次の手順に従ってください:

1. CA Agile Vision で、JIRA プロジェクトにマップされた製品の問題を作成します。
2. JIRA で、問題同期サービス ジョブをただちに、または事前定義された間隔で実行します。
3. JIRA で、CA Agile Vision 製品にマップされている JIRA プロジェクトをフィルタリングして抽出し、問題を見つけます。

JIRA の CA Agile Vision との統合の無効化

CA Agile Vision との接続をすべて無効にするには、スケジュール済みの問題同期サービスジョブを削除します。ジョブを削除すると、CA Agile Vision とのすべての問題の同期が無効になります。

スケジュール済みの問題同期サービスジョブの削除後に、[CA Agile Vision]メニューから[同期ステータス]を選択して、ジョブを手動で実行できます。

次の手順に従ってください:

1. JIRA で[管理]をクリックします。
[管理]ページが表示されます。
2. [システム]メニューから[サービス]をクリックします。
[サービス]リスト ページが表示されます。
3. 問題同期サービスジョブの隣の[削除]リンクをクリックします。

第 4 章: Quality Center と CA Agile Vision の統合

このセクションには、以下のトピックが含まれています。

[Quality Center と CA Agile Vision の統合方法 \(P. 53\)](#)

[Quality Center テストケースの CA Agile Vision への統合 \(P. 61\)](#)

Quality Center と CA Agile Vision の統合方法

HP Quality Center を CA Agile Vision と統合するには、以下の手順に従います。

- [HP Quality Center 用の Quality Center プラグインをインストールします \(P. 54\)](#)。
- [CA Agile Vision 用の Quality Center プラグインを設定します \(P. 55\)](#)。
- CA Agile Vision を有効にして Quality Center と統合します。

HP Quality Center を有効にする方法については、CA Agile Vision および CA Product Vision の「管理ガイド」を参照してください。

Quality Center プラグインのセットアップの前提条件

Quality Center プラグイン パッケージをインストールする前に、以下の設定を確認してください。

- Windows 32 ビット オペレーティング システム
- HP Quality Center バージョン 10.00 がインストールされていること
- CA Agile Vision Winter 2012 以降を利用でき、実行されていること
- Microsoft .Net Framework バージョン 2.0 以降がインストールされていること
- Open Test Architecture Client が HP Quality Center からダウンロードされていること

注: OTA Client は、Quality Center プラグイン パッケージのインストール先と同じシステムにインストールしてください。プラグインをインストール後、実行するために、このクライアントが必要です。

Quality Center プラグインは、Quality Center のインストール先と同じシステム、または別のシステムにインストールできます。

Quality Center プラグイン パッケージのインストール

プラグイン パッケージをダウンロードしてインストールします。

次の手順に従ってください:

1. Quality Center プラグインをインストールするシステムにログインします。
2. support.ca.com から利用可能な GEN06141118E.zip ファイルをダウンロードし抽出します。
3. CA Agile Vision QC Integration v1.3.0.exe ファイルをダブルクリックします。

HP Quality Center 用 CA Agile Vision プラグインのセットアップ インストール ウィザードが開きます。

4. インストール フォルダのパスを指定し、ウィザードの手順に従って、プラグインをインストールします。

インストールが完了すると、確認メッセージが表示されます。

CA Agile Vision 用の Quality Center プラグインの設定

Quality Center プラグインのインストール後、CA Agile Vision と通信できるように Quality Center プラグインを設定します。プラグインを設定したら、CA Agile Vision への接続をテストします。正しく接続されていると、Quality Center および CA Agile Vision のパスワードは暗号化され、設定ファイルに格納されます。

次の手順に従ってください:

1. Quality Center プラグインのインストールフォルダで、AvQcIntegration.exe.config ファイルを見つけます。
2. この設定ファイルをテキスト エディタで開きます。
3. Quality Center の以下のパラメータを設定します。

Quality Center User Name

Quality Center アカウントにログインするための管理者ユーザ名を定義します。管理者は、Quality Center 内の複数のプロジェクトに対するアクセス権を持っている必要があります。

Quality Center Password

Quality Center アカウントにログインするための暗号化された管理者パスワードを表示します。

Quality Center URL

Quality Center の URL を表示します。

例: `http://myqa1234:8088/qcbin`

Quality Center Database Type

Quality Center が使用するデータベースのタイプ (MSSQL または Oracle) を定義します。

AV QC Integration Partner SforceService

Quality Center プラグインが通信できる、Salesforce.com の Web サービス エンドポイントの URL を定義します。

既定値: `https://login.salesforce.com/services/Soap/u/19.0`

既定値を変更して、テスト目的でサンドボックス URL が参照されるようにすることができます。

例: `https://test.salesforce.com/services/Soap/u/19.0`

4. CA Agile Vision の以下のパラメータを設定します。

CA Agile Vision ユーザ名

CA Agile Vision にログインするための管理者ユーザ名を定義します。管理者は、CA Agile Vision 内の複数のプロジェクトに対するアクセス権を持っている必要があります。

CA Agile Vision パスワード

CA Agile Vision にログインするための暗号化された管理者パスワードが表示されます。

CA Agile Vision セキュリティトークン

CA Agile Vision サーバのセキュリティトークンを定義します。

CA Agile Vision パッケージ プレフィックス

CA Agile Vision のパッケージプレフィックスを定義します。CA Agile Vision の以降のバージョンにアップグレードする場合は、既定のプレフィックス値のみ変更してください。

ソース: Salesforce.com の [Installed Packages] ページの [Namespace Prefix] フィールド値。

値: ca_agile

プロキシ URL

プロキシ認証用のプロキシサーバ URL を定義します。この値が必要になるのは、プロキシサーバを使用してインターネットにアクセスしている場合のみです。

プロキシドメイン

プロキシ認証用のプロキシサーバドメインを定義します。この値が必要になるのは、プロキシサーバを使用してインターネットにアクセスしている場合のみです。

プロキシユーザ名

プロキシ認証用のプロキシサーバユーザ名を定義します。この値が必要になるのは、プロキシサーバを使用してインターネットにアクセスしている場合のみです。

プロキシパスワード

プロキシ認証用のプロキシサーバパスワードを定義します。この値が必要になるのは、プロキシサーバを使用してインターネットにアクセスしている場合のみです。

5. **Quality Center** プラグインのインストールフォルダで、**TestConnection.bat** ファイルをダブルクリックして、**Quality Center** と **CA Agile Vision** の接続をテストします。

Quality Center および **CA Agile Vision** のパスワードの入力を促すプロンプトが表示されます。入力するパスワードは暗号化され、設定ファイルに格納されます。

Quality Center および CA Agile Vision パスワードの変更

CA Agile Vision に正常に接続すると、**Quality Center** および **CA Agile Vision** パスワードは暗号化され、設定ファイルに格納されます。

これらのパスワードを随時変更するには、**TestConnection.bat** ファイルを使用します。このツールはパスワードを暗号化し、暗号化されたパスワードを格納します。

Quality Center から CA Agile Vision サンドボックス環境にアクセスするための URL を変更します

サンドボックス環境を参照するように、Salesforce.com へのアクセスに Quality Center が使用する URL を編集します。既定の URL は通常的环境を参照します。CA Agile Vision 用のサンドボックス環境を作成し、プラグインがサンドボックス環境にアクセスできるように URL を変更できます。

注: URL を変更するのは、CA Agile Vision サンドボックス環境にアクセスする場合だけにしてください。サンドボックス環境を作成していない場合、URL を変更する必要はありません。

詳細については、Salesforce.com の「ヘルプ & トレーニング」を参照してください。

次の手順に従ってください:

1. Quality Center プラグインのインストール先フォルダで、AvQcIntegration.exe.config ファイルを見つけます。
2. この設定ファイルをテキスト エディタで開きます。
3. 「AV QC Integration Partner SforceService」パラメータ内の既定の URL を変更します。変更前の URL:
`https://login.salesforce.com/services/Soap/u/19.0`
変更後の URL:
`https://test.salesforce.com/services/Soap/u/19.0`

スケジュールされた Windows タスクとして実行するプラグインの設定

Quality Center プラグインをインストールして CA Agile Vision 用に設定した後、スケジュールされた Windows タスクとして実行するプラグインをセットアップします。たとえば、毎日、毎週、または毎月、プラグインを実行するように設定できます。スケジュールされたタスクを実行するときは常に、HP Quality Center 用 CA Agile Vision プラグインのコンソールが開き、バックグラウンド同期サービスが開始されます。このバックグラウンド サービスによって、Quality Center プロジェクトおよびテスト ケース データが CA Agile Vision に転送されます。タスクが完了すると、コンソールは自動的に閉じられます。

この Windows タスクのスケジュールリング パラメータは、タスクの作成後、随時変更できます。

注: Quality Center から CA Agile Vision へのデータの転送をすべて停止するには、スケジュールされた Windows タスクを無効にします。

スケジュールされたタスクの作成の詳細については、Microsoft Windows のドキュメントを参照してください。

次の手順に従ってください:

1. デスクトップで、[スタート]メニューをクリックし、[設定]メニューから[コントロール パネル]を選択します。
[コントロール パネル]ウィンドウが開きます。
2. [タスク]を選択します。
[タスク]ウィンドウが表示されます。
3. [スケジュールされたタスクの追加]アイコンをダブルクリックします。
タスク ウィザードが表示されます。
4. このウィザードで[次へ]をクリックし、Windows で実行するプログラムとして AvQcIntegration.exe を選択します。
5. ウィザードの指示に従って、以下を指定します。
 - タスクの名前
 - タスク実行のスケジュール
 - タスクの開始日時
 - タスクをスケジュールするユーザのユーザ名およびパスワード
6. [完了]をクリックします。

毎日 2 回以上データを同期するには、[タスクの繰り返し]オプションを使用します。

Quality Center プラグインのサンプル設定ファイル

Quality Center および CA Agile Vision の認証情報の値が含まれる設定ファイルの例を以下に示します。

```
<setting name="qualityCenter_userName" serializeAs="String" >
<value>qualityCenter_userName</value>
</setting>
<setting name="qualityCenter_password" serializeAs="String">
<value>qualityCenter_password</value>
</setting>
<setting name="qualityCenter_url" serializeAs="String">
<value>http(s)://hostname(IP):port/qcbin</value>
</setting>
<setting name="qualityCenter_databaseType" serializeAs="String">
<value>MSSQL or Oracle</value>
</setting>
<setting name="av_qc_integration_partner_SforceService" serializeAs="String">
<value>https://login.salesforce.com/services/Soap/u/19.0</value>
</setting>
<setting name="agileVision_userName" serializeAs="String">
<value>agileVision_userName</value>
</setting>
<setting name="agileVision_password" serializeAs="String">
<value>agileVision_password</value>
</setting>
<setting name="agileVision_securityToken" serializeAs="String">
<value>agileVision_securityToken</value>
</setting>
<setting name="agileVision_packagePrefix" serializeAs="String">
<value>agileVision_packagePrefix</value>
</setting>
<setting name="proxy_url" serializeAs="String">
<value>proxy_url</value>
</setting>
<setting name="proxy_domain" serializeAs="String">
<value>proxy_domain</value>
</setting>
<setting name="proxy_userName" serializeAs="String">
<value>proxy_userName</value>
</setting>
<setting name="proxy_password" serializeAs="String">
<value>proxy_password</value>
</setting>
```

Quality Center テスト ケースの CA Agile Vision への統合

同期ジョブは、スケジュールされた Windows タスクとして実行する Quality Center プラグインのセットアップ時にユーザが定義した間隔で実行されます。このジョブによって、Quality Center のすべてのプロジェクトが CA Agile Vision に同期されます。

CA Agile Vision では、これらのプロジェクトを CA Agile Vision 製品にマップできます。これらのプロジェクト マッピングに基づいて、同期ジョブでは以下のテスト ケース情報も Quality Center から CA Agile Vision に同期されます。

- 最新のステータス
- テスト実行結果
- テスト手順

最初の同期中に、既存のプロジェクト、フォルダ、およびテスト ケースはすべて Quality Center から CA Agile Vision に同期されます。それ以降の同期では、これらのプロジェクト、フォルダおよびテスト ケースへの変更のみが同期されます。

CA Agile Vision で、ユーザストーリーからこれらのテスト ケースをリンクできますが、テスト ケースの編集はできません。

Quality Center で CA Agile Vision と同期されているプロジェクトを削除すると、同期ジョブの実行後、そのプロジェクトは CA Agile Vision でマッピングリストから削除されます。このプロジェクトのデータは同期されなくなります。

Quality Center でテスト ケースを削除すると、次の同期ジョブの実行後、そのテスト ケースが CA Agile Vision から削除されます。CA Agile Vision でユーザストーリーからテスト ケースを削除する場合、そのテスト ケース自体は CA Agile Vision または Quality Center から削除されません。テスト ケースとユーザストーリーの間の関連のみがなくなります。

次の手順に従ってください:

1. Quality Center で、CA Agile Vision にマップされるプロジェクトにログインします。
2. テスト ケースを作成および実行します。
3. Quality Center プラグインを実行します。

テスト ケースフォルダは CA Agile Vision へインポートされます。

付録 A: CA Agile Vision および CA Product Vision への CA Clarity PPM フィールドのマッピング

このセクションには、以下のトピックが含まれています。

[プロジェクトのマッピング](#) (P. 63)

[リソースのマッピング](#) (P. 64)

[タスクのマッピング](#) (P. 66)

[タスク作業ログのマッピング](#) (P. 68)

[妨害マッピング](#) (P. 70)

プロジェクトのマッピング

CA Clarity PPM プロジェクトを CA Agile Vision または CA Product Vision 製品にリンクしている場合、これらの製品を CA Clarity PPM 内で表示して作業することができます。プロジェクトのリンク後、CA Clarity PPM でプロジェクトの日付を更新すると、CA Agile Vision 内でリリース日が自動的に更新されます。

CA Agile Vision の製品およびリリースフィールドと CA Clarity PPM のプロジェクトフィールドのマッピングの関係を以下の表に示します。

CA Agile Vision フィールド	CA Clarity PPM フィールド
製品名	CA Vision 製品名
製品 ID	CA Vision 製品 ID
リリース名	CA Vision リリース名
リリース ID	CA Vision リリース ID
マスタ リリース名	CA Vision マスタ リリース名
開始日 (リリース)	開始日 (プロジェクト)
リリース日 (リリース)	終了日 (プロジェクト)

リソースのマッピング

統合 CA Clarity PPM プロジェクトのプロジェクト チームにリソースを追加すると、新規アカウントは Salesforce.com アカウントを持たないユーザーに対して作成されます。リソースは CA Agile Vision ユーザーとして追加されます。既存の Salesforce.com ユーザー アカウントを持つリソースは、CA Agile Vision ユーザーとして追加され、CA Clarity PPM プロジェクトにリンクされます。

リソースに対して Salesforce.com アカウントがすでに存在するかどうかの判別には、リソースの従業員番号と電子メール アドレスが使用されます。

リソースを CA Clarity PPM 内で非アクティブとしてマークすると、マッピングされた Salesforce ユーザーも非アクティブになります。

リソースの更新

新規ユーザーは、電子メールによる通知を受け取ります。この通知には、ユーザー名としての CA Clarity 電子メール アドレスと、Salesforce.com へのログインに必要な一時パスワードが記載されています。ユーザー名が Salesforce.com 内にすでに存在する場合、電子メール アドレスの末尾にタイム スタンプが追加されません。

ユーザーはこの情報でログインして CA Agile Vision にアクセスし、パスワードを変更します。CA Agile Vision ユーザーであり、CA Clarity PPM プロジェクトにリンクされている一意の各 Salesforce.com アカウントに対しては、CA Agile Vision Enterprise Edition のライセンスが必要です。

リソースの削除

リンクしたリソースが CA Clarity PPM で削除された場合、そのリソースは、CA Agile Vision の統合プロジェクトからも削除されます。それらのリソースは、CA Clarity PPM にリンクされたユーザー ストーリーおよびタスクに時間を記録したり、割り当てたりすることはできなくなります。これらのユーザーは、CA Agile Vision 内で非アクティブにすることができます。Salesforce.com ユーザーも非アクティブになります。

リソースのマッピング

CA Clarity PPM と CA Agile Vision 間のリソースフィールドのマッピング関係を以下の表に示します。

CA Agile Vision フィールド	CA Clarity PPM フィールド
名	名
姓	姓
電子メール アドレス	電子メール
ユーザ名	日付が追加された電子メール アドレス (例: firstname.lastname@ca.com.030610)

タスクのマッピング

タスクで構成されるユーザストーリーおよび問題を CA Agile Vision 内で作成し、それらをスプリントおよびリリース(製品、マスタ、またはその両方)にそれらを割り当てます。対応するタスクは、リンクされた CA Clarity PPM プロジェクト内に自動的に作成されます。CA Clarity PPM プロジェクトが CA Agile Vision 内のマスタリリースにリンクされている場合、マスタリリースに割り当てられているユーザストーリーのみが WBS に表示されます。マスタリリースに関連付けられているすべての製品は、トップレベルに表示されます。

CA Clarity PPM プロジェクトタスクの WBS は、以下のように構築されます。

- 製品名およびリリース名はトップレベルの要約タスクとして表示され、その下にスプリント、ユーザストーリー、または問題が重ねて表示されます。
- ユーザストーリーが製品リリースに割り当てられておらず、マスタリリースに割り当てられている場合、トップレベルの要約タスクは製品名として表示されます。
- ユーザストーリーがマスタリリースに割り当てられておらず、製品リリースに割り当てられている場合、トップレベルの要約タスクはリリース名として表示されます。
- 割り当てられるユーザストーリーは、スプリントごとにグループ化されます。
- 割り当てられないユーザストーリーは、未スケジュールタスクとしてグループ化されます。
- タスクは、関連付けられるユーザストーリーごとにグループ化されます。
- 問題は、スプリントまたは未スケジュールのタスクの下に、ユーザストーリーと同じレベルでグループ化されます。

CA Clarity PPM プロジェクトが CA Agile Vision 内のマスタリリースにリンクしている場合、WBS 階層は以下のようになります。

製品 - リリース

 スプリント

 ユーザストーリー

 タスク

CA Clarity PPM プロジェクトが CA Agile Vision 内の製品リリースにリンクしている場合、WBS 階層は以下ようになります。

スプリント

 ユーザストーリー

 タスク

タスクの更新

CA Agile Vision 内でタスクに加えたすべての変更は、CA Clarity PPM 内で自動的に反映されます。たとえば、タスクの担当者が変更されると、その変更は CA Clarity PPM でも反映されます。CA Agile Vision で見積もり時間と担当者を削除すると、CA Clarity PPM のタスクでも ETC と担当者が削除されます。

タスクの削除

CA Agile Vision のスプリントを削除すると、統合されたスプリントタスクが CA Clarity PPM で削除されます。このスプリントタスクのサブタスクは、以下に従って再度グループ化されます。

- 親ユーザストーリーがスプリントに割り当てられていない場合、サブタスクは未スケジュールタスクにグループ化されます。
- 親ユーザストーリーが新しいスプリントに割り当てられている場合、サブタスクはその新しいスプリントタスクにグループ化されます。

CA Agile Vision でタスクの実績値があるユーザストーリーを削除した場合、タスクおよびそのサブタスクは CA Clarity PPM の削除済みタスクグループにロールアップされます。いずれのタスクにも実績値がない場合、ユーザストーリータスクとそのサブタスクは CA Clarity PPM から削除されます。

フィールドと値のマッピング

CA Agile Vision のスプリント、ユーザストーリー、およびタスクの情報がどのように使用されて、CA Clarity PPM WBS のフィールドおよび値として入力されるかを以下の表に示します。

CA Agile Vision フィールド/値	CA Clarity PPM フィールド/値
<ul style="list-style-type: none">■ スプリント名■ ユーザストーリー タイトル■ タスク タイトル	タスク
担当者	割り当て
予想時間	ETC (残存作業時間) (タスク担当者が存在する場合のみ、CA Clarity PPM 内で取得されます)
計画済み(タスク ステータス)	開始前(タスク ステータス)
進行中(タスク ステータス)	開始済み(タスク ステータス)
クローズ(タスク ステータス)	完了(タスク ステータス)
スプリント開始/終了日	タスク開始/終了日 (タスクがスプリントに割り当てられている場合)
リリース開始/終了日	タスク開始/終了日 (タスクがスプリントに割り当てられていない場合)

タスク作業ログのマッピング

タスク作業ログまたは仮想ウォールを使用して、CA Agile Vision でタスクに作業時間を入力すると、CA Clarity PPM では以下の更新が行われます。

- 時間を記録するユーザが、[割り当て] ページ上で、リンクされているタスクに担当者として追加されます (CA Clarity PPM タスクに既存の担当者が存在しない場合)。
- 作業時間はタスクの実績値に追加されます。
- 作業時間と残存時間が、CA Clarity PPM 上で、関連リソースのタイムシートの該当する日付に入力されます。

CA Agile Vision タスクの作業ログ情報が CA Clarity PPM のタイムシートにどのようにマッピングされるかを以下の表に示します。

CA Agile Vision 作業ログ	CA Clarity PPM タイムシート
Agile ユーザ名/担当者	リソース名
作業時間	1 日単位の記録時間
残存時間	ETC (残作業時間)
作業日	タイムシート期間の日付
タスクタイプ	請求コード

CA Agile Vision で作業ログを更新するたびに、対応する CA Clarity PPM のタイムシートが更新されます。ただし、タイムシートが提出済みステータスの場合は更新されません。

CA Clarity PPM のタイムシートで時間を取得した後に、CA Agile Vision の作業ログを削除することができます。現在、タイムシートが提出されていない場合は、CA Agile Vision での最新の更新に基づいて更新されます。タイムシートがすでに提出されている場合は、タイムシートの調整が作成されます。

妨害マッピング

CA Agile Vision で妨害を作成すると、CA Clarity PPM で以下の更新が発生します。

- 関連する CA Clarity PPM タスクに対して CA Clarity PPM の問題が作成されます。
- CA Agile Vision のオーナー ユーザ ID が有効な CA Clarity PPM リソースでない場合、妨害のオーナーが割り当てられます。それ以外の場合、製品は有効なリソース(望ましくはプロジェクト マネージャ)を割り当てます。オーナーまたはプロジェクト マネージャ ユーザのどちらの ID も有効でない場合、オーナーとしてシステム管理者が割り当てられます。

以下の表には、CA Clarity PPM にマッピングされ、CA Vision 同期ジョブが実行されるたびに同期されるフィールドが示されています。

CA Agile Vision の妨害フィールド/値	CA Clarity PPM の問題フィールド/値
タイトル(255 文字)	名前(80 文字)*
なし、SFDC ID を使用(18 文字)	ID (18 文字)
説明(32000 文字)	説明(250 文字)*
担当者	オーナー
期限	解決予定日
重大度:	優先度:
<ul style="list-style-type: none"> ■ ブロック ■ メジャー ■ マイナー 	<ul style="list-style-type: none"> ■ 高 ■ 中 ■ 低
ステータス:	ステータス:
<ul style="list-style-type: none"> ■ オープン ■ 進行中 ■ 解決済み ■ クローズ 	<ul style="list-style-type: none"> ■ オープン ■ 進行中の作業 ■ 解決済み ■ クローズ

文字数が CA Clarity PPM の文字制限を超える場合、CA Clarity PPM では超過部分は切り捨てられます。